

桂坂山の手倶楽部

---

# 創立30周年記念誌



桂坂山の手倶楽部創立30周年記念事業実行委員会

# 桂坂山の手倶楽部創立30周年記念誌

## 目次

### ご挨拶

清水 健男	桂坂山の手倶楽部創立30周年実行委員長	1
-------	---------------------	---

### 祝辞

八木 兵司	桂坂山の手倶楽部第7代会長	2
長谷川文彦	桂坂山の手倶楽部第8代会長	2
西井 征一	桂坂山の手倶楽部第9代会長	3

### 創立30周年記念事業 記念式典

実行委員長挨拶	清水 健男	桂坂山の手倶楽部 会長	4
---------	-------	-------------	---

来賓祝辞	山中 かおり	西京区役所洛西支所 洛西担当区長	5
	上田 昭宏	桂坂小学校 校長	5
	桑原 尚史	桂坂学区自治連合会 会長	5

功劳者表彰			6
-------	--	--	---

### 創立30周年記念事業 樹木名札付け事業 7~8

### 特別寄稿

お祝い	桑原 尚史	桂坂学区自治連合会 会長	9~10
-----	-------	--------------	------

### 桂坂のエピソード 11

### 桂坂山の手倶楽部の変遷

地域と共に	12
区労連との歴史	13~14
山の手倶楽部ここにあり	15~16

### 桂坂山の手倶楽部同好会の紹介（活動中）～過去・現在・未来～ 17~32

書道（17）	絵画（18）	写真（19）	囲碁将棋（20）	コーラス（21）
歩こう会（22）	ハイキング（23）	グラウンドゴルフ（24）	ペタンク（25）	
ボウリング（26）	ゴルフ（27）	社交ダンス（28）	軽音楽（29）	
カラオケ（30）	麻雀（31）	映画鑑賞（32）		

### 資料編 33~

### 編集後記

# 桂坂山の手倶楽部 創立30周年記念



## ご挨拶

桂坂山の手倶楽部 会長 清水 健男

この度は私達の「桂坂山の手倶楽部」が創立30周年を迎えることになり心からお慶び申し上げます。ただ新型コロナウイルス感染症蔓延の為、全ての30周年記念行事の開催がやむを得ず2年遅れとなりましたことをお詫び申し上げます。



振り返れば当倶楽部は平成4年（1992年）に当時160名の会員と8つの同好会で発足し、その後会員数が270名まで増加し、同好会も現在と同じ16まで増えました。これも熱心に本会の発展にご尽力された歴代役員や会員の皆様方、桂坂在住の地域の皆様方のお陰と感謝いたします。発足当時は自治会の「福祉」事業の一つとして生まれた「老人会」や「シルバークラブ」などが大同団結し「桂坂山の手倶楽部」として旗揚げしたようです。結成に先立って行われた入会目的のアンケートの結果は、多い順から挙げますと

・健康維持と親睦のため ・新しい仲間を作るため ・教養娯楽のため、  
などでした。現在の当倶楽部の存在意義と変わるところはないのではないのでしょうか。

最近では就労年数の延長による新規入会者の減少と、会員の高齢化により、また京都市の「ふれあい会館」廃止による活動会場にかかわる各種制約、さらに新型コロナウイルス感染症の拡大などのため、会員数が200名余りに減少してきました。

一方昨年10月の国勢調査の結果では全人口に占める高齢者（65歳以上）の比率は29%（桂坂の高齢者も約30%）と増加傾向にあるため、当倶楽部への入会資格者は年々増加していると思われます。これら的高齢者が生き甲斐をもち元気に生活するうえで私たちの山の手倶楽部の存在意義が増加しています。国の調査では皆様は既にご存じのとおり、「常に他人と交わる人」と、「自宅にほとんど閉じこもっている人」とでは、「フレイル」（無気力で認知症予備軍）の発症率と健康状態には歴然とした差が出ています。後期高齢者医療保険料の約40%を若い人たちの保険料に依存している（介護保険料も同じ）ことをおもう時、私たち高齢者が自分の手で自立できる健康状態を少しでも長く維持できる努力が家族や社会への負担軽減のために必要です。幸い私達の倶楽部は16もの同好会を持ちそれぞれが活発に活動するとともに、いくつかの地域協力活動を元気に続けています。その結果、お陰様で内外の地域から活動状況を高く評価されています。

自立できる健康な高齢者であり続けるには、会員同士が仲良く懇親を深め、山の手倶楽部を一層魅力有るものとして、さらに新しい会員を増やす努力が この高齢化社会の中で今ほど重要となっているときはありません。この為に現在の役員と会員の皆様方、地域の皆様方のご協力を切にお願いするものです。

以上

## 祝 辞

### 桂坂山の手倶楽部 第7代会長 八木 兵司



この度、桂坂山の手倶楽部が発足して以来、目出度く30周年を迎えることが出来ましたことを皆様とともにお慶び申し上げます。

30年も経ちますと、会員の構成がすっかり変わり、活動内容も時代に応じて徐々に変化してきておりますが、基本的な生活指針は、総会議案書の最後に掲げられている「会員生活10か条」に沿って素晴らしい伝統が守られていることを誇らしく感じております。

伝統ある当倶楽部が、この生活指針に基づき30年間にも亘って活発に活動を続けてこられたことは賞賛に値すると思えます

高齢化や定年延長の影響もあり、会員が減少傾向にあるのは残念ですが、これらを乗り越えて次の40周年に向けて地域に密着しながら更なる活発な活動を続けていければと願っております。

この度、私の役員経歴に対して功労者表彰を受けることが出来ましたこと、誠に光栄に思っております。役員をやっていた11年間は、忙しいながらも充実した日々を過ごし、多くの会員の皆様方と広く交流を深めることが出来た事など、今から思えばかけがえのない第二の人生のひとつであったと感謝申し上げます。これからも、一会員として当倶楽部の発展に協力してゆきたいと思っております。

### 桂坂山の手倶楽部 第8代会長 長谷川 文彦



桂坂山の手倶楽部創立30周年誠にありがとうございます。

また記念式典に際し功労者表彰の栄に浴し、感謝申し上げます有難うございます。

私がこの地に住居を構えたのは昭和63年でした。その当時はまだ家屋もほとんど建っていない見渡してもほとんど更地で交通の便も悪く、市バスは1日2便位であったと記憶いたして居ります。その後急速に発展いたし、多くの方々が住まわれ、洛西ニュータウンからの方々が多く来られました。そして立派な桂坂地区が出来上がり自然環境豊かな町造りが形成されました。私も当倶楽部の会長職を1期2年務めさせていただきました。丁度その時は倶楽部の同好会の皆様方が活発にふれあい会館を利用されていた時にも拘わらず廃止になりそれも利用者の意見を聞かず

一部の方で決まりました。京都市はふれあい会館の運営費に年間1億円ほど赤字が出るのがその理由でありましたが、元来福祉事業は赤字が出るのが常ですが現在この桂坂地区には住民のコミュニティ施設がありません。山の手倶楽部としては自治連合会に対し施設の設置を強く要望していただきたいとおもいます。

30年というのは企業にとりましても団体にとりましても一つの区切りであります。山の手倶楽部が今後40年、50年100年と発展してゆきますことを祈念申し上げ、祝辞といたします。

# 祝 辞

## 桂坂山の手倶楽部 第9代会長 西井 征一



新秋の折、皆様には一層ご活躍の由、お喜び申し上げます。  
この度は、桂坂山の手倶楽部創立 30 周年記念式典に於いて 功  
労賞を受賞賜り誠にありがとうございました。

諸先輩方の努力してこられた山の手倶楽部ですが、会員の減少  
により 5 ブロックで運営していたのを、3 ブロックにせざるを得ない状  
況になりました。役員のみ手が少なくなり、多くの人を、区老  
連の役員として派遣しなければならないことを考えると、区老連  
を脱会せざるを得なかった。

山の手倶楽部の活動拠点であった、ふれあい会館が閉鎖となり、大きな集会の場がなくなり、  
総会と懇親会の参加者が少なくなりました。多くの人に参加できる場所を探して、小学校に依頼  
しましたがなかなか難しい事でした。

会員の減少が起きている昨今ですが、一人でも多くの人山の手倶楽部に入会されるように願  
っています。

山の手倶楽部として、地域との連携を大切にして活動しています。「朝の声かけ」や「子供見守  
り隊」の活動を行っています。

当初は、女性会と共同で行っていましたが、女性会が解散されたので、山の手倶楽部独自で行  
うようになりました。

ここ三年間はコロナの発生により、山の手倶楽部の活動が十分にできていません。

これからも体調には、十分気を付けて、各々の同好会活動に活躍されることを望みます。

最後に山の手倶楽部の今後の発展と、会員の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

### \* ご参考＜桂坂山の手倶楽部 歴代会長＞ (敬称略)

	氏 名	期 間
初代	立野 和之	平成 4 年 4 月～平成 11 年 3 月
第 2 代	上久保 潤次郎	平成 11 年 4 月～平成 13 年 3 月
第 3 代	野口 修	平成 13 年 4 月～平成 14 年 3 月
第 4 代	山本 昭	平成 14 年 4 月～平成 18 年 3 月
第 5 代	岡 頼男	平成 18 年 5 月～平成 21 年 3 月
第 6 代	乗本 政三	平成 21 年 4 月～平成 23 年 3 月
第 7 代	八木 兵司	平成 23 年 4 月～平成 25 年 3 月
第 8 代	長谷川 文彦	平成 25 年 4 月～平成 27 年 3 月
第 9 代	西井 征一	平成 27 年 4 月～平成 31 年 3 月
第 10 代	清水 健男	平成 31 年 4 月～

\* 初代相談役 松尾 隆夫 (平成 4 年 4 月～平成 6 年 3 月)

# 記念式典

令和五年度  
桂坂山の手倶楽部  
創立三十周年記念式典

## 式次第

一、開会の辞	林 正信
司会（桂坂山の手倶楽部 副会長）	
一、実行委員長挨拶	清水 健男
桂坂山の手倶楽部 会長	
一、来賓祝辞	山中 かおり
西京区役所洛西支所 洛西担当区長	
桂坂小学校 校長	上田 昭宏
桂坂学区自治連合会 会長	桑原 尚史
一、功労者表彰	乗本 政三
しらかば自治会	八木 兵司
ひいらぎ自治会	西井 征一
ひいらぎ自治会	西澤 四郎
あかしあ自治会	岡村 重臣
さくら 自治会	岡村 健一
かえで 自治会	岡村 英明
つばき 自治会	長谷川 文彦
さつき 自治会	園 章
絵画同好会講師	
一、表彰者代表挨拶	乗本 政三
しらかば自治会	
一、閉会の辞	林 正信
司会（桂坂山の手倶楽部 副会長）	

以上（敬称略）

（挨拶：要旨） 清水 実行委員長



山の手倶楽部は平成4年4月に会員数160人、8つの同好会でスタートしました。会員は最も多い時で270人でしたが近年は会員が減少傾向なので色々なPR活動に取り組んでいます。

同好会活動では、シニアスポーツ関係では対外試合で好成績を納めたり、文化系では「趣味の作品展」や「野鳥遊園」などで定期的に作品を展示し高い評価を得ています。

また、地域貢献としては「朝の声掛け活動」を年に3シーズン実施し先生方や保護者から大変感謝されています。昨年は軽音楽同好会によるコンサートを初めて屋外で開催し住民に喜ばれました。

今回の30周年記念事業では祝賀会は残念ながら出来ませんでした。その代わりに何か記念になるものを残したいと考え桂坂の8つの緑道と14の公園の主要な樹木に名札を取り付ける事業に今取り組んでいます。

今後も我々高齢者が同好会活動を通じて健康を維持しながら地域に貢献して行きたいと思っています。

# 記念式典

# 来賓祝辞



西京区役所洛西支所  
洛西担当区長  
山中 かおり 様

(ご挨拶：要旨)

本日の記念式典を心からお慶び申し上げます。

桂坂は豊かな自然の恵みと住民の皆様が地域のきずなを大切に  
大変素晴らしい街だと思っています。

山の手倶楽部の皆様が魅力的な同好会活動や地域との連携強化を  
図っておられるのも皆様方の熱意の賜物だと思います。

京都市では地域のまちづくりを推進する組織を立ち上げて持続可  
能な取り組みを進めてまいりますので皆様方の一層のご理解ご協力を  
お願い申し上げます。創立 30 周年から次の 40 年、50 年に向けて更に飛  
躍されますことを祈念しております。この度は誠にありがとうございます。



桂坂小学校 校長  
上田 昭宏 様

(ご挨拶：要旨)

創立 30 周年、誠にありがとうございます。

桂坂小学校は今年で 35 年目になります。

朝の声掛け運動では子供たちも元気を頂いており地域の安心安全にご  
尽力頂き感謝申し上げます。今年度の学校目標は人と豊かに関わるこ  
とです。更に付け加えたのが未来を作り上げる、地域の皆様と関わり合い、  
重なり合い、共有しながら新たな一歩を踏み出して行くことで山の手倶  
楽部の皆様とつながって行きたいと思っております。 今後とも子供た  
ちに優しく、厳しく、宜しくお願い致します。



桂坂学区自治連合会 会長  
桑原 尚史 様

(ご挨拶：要旨)

創立 30 周年記念式典ご盛会誠にありがとうございます。

特に軽音楽同好会クッキーズの皆様には大変ご協力を頂き感謝申し  
上げます。

桂坂の開発はセゾングループ代表だった堤さんが熱心に街づくりを  
支援したようです。なかでも「桂坂」の名前をつけたのは、有名なコピ  
ーライターの糸井重里さんです。「桂」はあの桂離宮から、「坂」は眺望  
がいいとか文化的プレステージ性を感じさせるとの理由です。とにか  
く、堤さんは質の高い住宅地にしたかったようで相当な思い入れがあ  
ったようです。特に、「山の手」(倶楽部)は「桂坂」と2つも質の高い  
イメージが響きあった素晴らしいネーミングだと思います。

いつまでも若さを保っていただけることを祈念いたし私のご挨拶と  
させていただきます。

## 記念式典

### 山の手倶楽部に貢献された 9 名の方が表彰されました



出席された方は、左から岡村重臣さん、田中健一さん、岡村英明さん、清水会長、乗本政三さん、八木兵司さん、西澤四郎さん、西井征一さん。他に、園章さんと長谷川文彦さんはご欠席されました。



園 章さん



長谷川文彦さん

#### 表彰者を代表して乗本政三さんがご挨拶（要旨）

山の手倶楽部創立 30 周年記念式典おめでとうございます。

平成 4 年に 150 人程の会員で 11 の同好会で発足したと記憶しておりますが、現在は 200 人を超える立派な組織になりました。同好会活動以外にも朝の声掛け活動や野鳥遊園紅葉祭りでのお手伝い、あかしあ公園やふれあい広場の清掃など地域から高い評価を頂いております。今回の総会で今後は年齢制限を撤廃され単なる老人倶楽部ではなくなりました。活力のある組織として今後 40 周年、50 周年に向けて更なる発展を祈願してお祝いの挨拶に致します。



# 桂坂山の手倶楽部創立 30 周年記念事業の紹介

## ……緑道・公園の主要樹木へ名札取付（1）……

2023 年 3 月から 山の手倶楽部創立 30 周年を記念して、何か地域に役立つものを残したいと、主要樹木に名札を会員の手で制作し取りつける事業に取り組みました。桂坂の公園と緑道には他の地区には見られないほどの美しい樹木が沢山あり、桂坂の良さに関する住民へのアンケートの結果からでも、緑豊かな町であることが桂坂の第一の魅力となっています。地区の住民はもとより、他地区から訪れる人たちに樹木の名称をもっと知ってもらい、美しい桂坂に対する愛着をより高めてもらうことを狙いとしています。そのために 8 本の緑道と 14 箇所の公園に、



樹木を詳しく説明した（QR コード付）名札約 1 千本を会員の手で作成、設置中です。散歩、通行の機会にこの名札をご活用いただき、スマホで QR コード を読み取っていただくと、その樹木の更に詳しい解説が出てきますので、「ああそういう樹木だったのか」と関心の薄い人でもきっとその木への理解と愛着が増すものと思います

なお名札の取付は京都市長の許可と 京都市みどり事務所、さらに桂坂学区自治連合会の賛同を得ていますので、多くの人達から永く大切に扱っていただけることを期待しています。（清水 健男）

### 名札制作者の永井 博 会員より



桂坂山の手倶楽部 30 周年記念樹木名・緑道名表示板設置事業に参加して、樹木名札・緑道名表示板の作成を担当しています。

今回の事業担当に当たり、桂坂に 8 つの緑道がある事や、14 の公園がある事を知りました。と同時に、こんなに多くの樹木草花が植栽されている事にも驚きを感じました。

今回樹木名札を設置することにより、緑道・公園にある樹木草花に興味を持っていただき、曳いては緑道公園の美化意識の向上に繋がれば良いなと思っています。

### 名札設置班リーダーの坂井 義男 会員より



山の手倶楽部役員と会員有志とともに名札の取り付けを本年一杯と見込んで進めています。枚数が多い為かなり苦労していますが、多くの方々にこの自然豊かな美しい桂坂の樹木を理解していただき、今後永く地域の皆様から愛されるまちづくりに役立てばと思っています。

ただ取り付けたあとから、名札の支柱を折ったり、抜いたりする悪戯？が結構多くて困っています。

しかし取り付け中に近所の人達から応援の声をいただけるのが、何よりの励みになっています。

# 桂坂山の手倶楽部創立 30 周年記念事業の紹介

……緑道・公園の主要樹木へ名札取り付け（2）……



名札を製作中の「山の手倶楽部」の皆さん



完成した低木用名札の一部

緑道表示板・樹木名板 作成設置タイムテーブル						
日程(予定) 月日	緑道表示板	樹木名板				
		樹木名・本数調査者	樹木名板 作成者	準備作業 (下記※1)	樹木名板 設置者	準備作業 (下記※2)
	設置者:坂井敦名 作成者:坂井	緑道名/公園名 担当者(※3)	永井	3~5名	※3と同じ	3名
4月1日~10日	第1緑道~第8緑道緑道表示板設置	第1緑道(○) 大川・中田	第1緑道	A		※2
4月11日~20日	桂坂山の手倶楽部表示板作成5本	第2緑道(○) 西井・喜多・星野	第2緑道	B		※2
4月21日~30日	桂坂山の手倶楽部表示板作成5本	第3緑道(○) 喜多・星野	第3緑道	配布	第1緑道	※2
5月1日~10日	桂坂山の手倶楽部表示板取付10本	第4緑道(○) 喜多・磯野	第4緑道		第2緑道	
5月11日~20日		第5緑道(○) 林・伊藤	第5緑道		第3緑道	
5月21日~31日		第6緑道(○) 内田	第6緑道		第4緑道	
6月1日~10日		第7緑道(○) 永井・清水	第7緑道		第5緑道	
6月11日~20日		第8緑道(○) 林・坂部	第8緑道		第6緑道	
6月21日~30日		(緑道本数300本)	第8緑道		第7緑道	
7月1日~10日			第8緑道		第8緑道	
9月1日~10日	夏休み(7/11~8/31)	桂坂公園(前半)(○) 内田・井上 他				
9月11日~20日		桂坂公園(後半)(○) 内田・井上 他	桂坂公園(前半)			
9月21日~30日		北谷第1公園(○) 中田	桂坂公園(後半)		桂坂公園	
10月1日~10日		北谷第2公園(○) 西井・星野	北谷第1公園		桂坂公園	
10月11日~20日		北谷第3公園(○) 西井・星野	北谷第2公園		北谷第1公園	
10月21日~31日		北谷第4公園(○) 大矢・大川	北谷第3公園		北谷第2公園	
11月1日~10日		北谷第5公園(○) 大矢・大川	北谷第4公園		北谷第3公園	
11月11日~20日	※1 A.塩ビ板両面テープ貼り、 150枚/人(星野・磯野・小阪)	大枝山第1公園(○) 西井・磯野	北谷第5公園		北谷第4公園	
11月21日~30日	B.説明紙切り。100枚/人	大枝山第2公園(○) 西井・磯野	大枝山第1公園		北谷第5公園	
12月1日~10日	(星野・磯野・小阪あと2名 星野さんが指名)	大枝山第3公園(○) 西井・磯野	大枝山第2公園		大枝山第1公園	
12月11日~20日		大枝山第4公園(○) 喜多・磯野	大枝山第3公園		大枝山第2公園	
12月21日~31日		峰ヶ堂第1公園(○) 清水・林	大枝山第4公園		大枝山第3公園	
1月1日~10日	※2(坂井・内田・井上)	峰ヶ堂第2公園(○) 林・伊藤	峰ヶ堂第1公園		大枝山第4公園	
1月11日~20日	スプリングワイヤー	峰ヶ堂第3公園(○) 林・伊藤	峰ヶ堂第2公園		峰ヶ堂第1公園	
1月21日~31日	・4cmカット、	細谷公園(○) 林・岡村	峰ヶ堂第3公園		峰ヶ堂第2公園	
2月1日~10日		(公園本数700本)	細谷公園		峰ヶ堂第3公園	
2月11日~20日		○印は、リーダー	細谷公園		細谷公園	



第2緑道での名札取り付け作業



樹木名札と山の手倶楽部説明用名札

これまで発行した「山の手だより」も観られますよ！



取り付けには錆びないようにステンレスの針金を使用し樹木の生育を阻害しないようスプリングを取り付け

## 特別寄稿

桂坂学区自治連合会  
会長 桑原 尚史

この度は、桂坂山の手倶楽部創立 30 周年、誠にありがとうございます。

2022 年 3 月発行の広報桂坂 241 号におきまして、「桂坂学区の高齢化比率」と「地域包括ケアシステム」について書かせていただきました。桂坂学区の高齢化比率は、京都市全体が 24.2%のところ、それ上回る 29.0%であり、丁目別では 3.2%から 49.2%まであります。介護保険制度は、高齢者を社会全体で支え合っていく仕組みであり、その骨格を成し、厚生労働省が高齢化社会の「切り札」としているのが「地域包括ケアシステム」です。「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けること」が、「地域包括ケアシステム」のポイントです。住まいの周りに医療機関、介護施設・介護サービス、地域包括支援センターがあります。近年は、「介護予防」が重視されており、「老人クラブ」、自治会・社会福祉協議会等のボランティア活動にその役割が期待されています。老人クラブを「単なる」趣味の集まりと言う人がいるかもしれませんが、決して、「単なる」ではありません。「大きな意義のある」の集まりです。



2019 年度と 2020 度の「桂坂山の手倶楽部だより」を読み返してみました。清水会長が書かれた「山の手倶楽部へのお誘い」の部分です。「全国老人クラブ連合会」の調査報告として、

「人との交流が多いと健康にプラス」・・・交流が月 1 回未満と少ない人は、1.3 倍早く亡くなりやすい。

「運動は仲間とすると健康にプラス」・・・頻繁に運動しても、グループに参加しないと要介護認定に至る可能性が高い。

「サロンへの参加は健康にプラス」・・・月 1 回高齢者サロンに参加・非参加者の比較。5 年後の要介護認定率は、14%が 7.7%に低減

「笑いのある生活が健康にプラス」・・・ほとんど笑わない人は、ほぼ毎日笑いのある生活を送る人と比べ、脳卒中になるリスクが 1.6 倍。心疾患のリスクは 1.2 倍。

「地域組織への参加は健康にプラス」・・・参加率が高い地域では、認知症リスクが低い。

と書かれています。山の手倶楽部の活動への参加は、まさに「健康長寿の秘訣」であり、本人の為のみならず、家族や社会の幸福を呼ぶ大切なことと言えます。

---

桂坂山の手倶楽部創立 30 周年記念事業として、桂坂学区内の公園、緑道で樹木名板・緑道名板を設置する取り組み、住民の気持ちにマッチした素晴らしい事業だと思えます。

桂坂は、1985 年にまとめられた「西京桂坂自然環境形成基本計画」をバイブルとし、「人間と自然(鳥や昆虫、植物や水)とが共生する街づくり」「人間と自然の融合をテーマにした豊かな景観の創造」等を主要な理念として開発されました。各自治会名は、原則として樹木名をひらがなで表すこととする等、緑が大切にされてきました。桂坂学区の住民全戸に実施された「桂坂地区の住まい・まちづくりを考えるアンケート」での「桂坂地区の将来像」についての問いにおいても、「緑が豊かなまち」への賛成が 93%、「自然と身近に関わることのできるまち」への賛成が 84%であり、住民自身も、開発理念に共鳴し、緑・自然を大切に思っています。樹木名板・緑道名板の設置により、より多くの方々が桂坂の緑・自然への理解を深め、大人も子供も「ふるさと桂坂」を味わっていただくことが期待できます。

2022 年、私は、桂坂公園「あわいばプチマルシェ」での農産物販売のアグロス胡麻郷の代表の方に、西武都市開発による桂坂の開発で、セゾングループの堤清二代表の懐刀と言われた人を紹介され、お会いしました。その際、「桂坂」のネーミングについても訊きました。実は、コピーライターの糸井重里さんによるネーミングです。日本で世界で誇れる「高質住宅地」にしたいとの堤清二代表の思いがありました。「桂」は、地名というよりも、「桂離宮」の「桂」を意識して使いました。次は「坂」です。高台にあるので、長岡京市にある阪急が開発した「光風台」、「美竹台」のように「桂台」でも良かったはずですが、どうして「桂坂」なのか。これは、セゾングループが東京の会社であることが関係しています。東京の人は「坂」というネーミングが好きです。「坂」は眺望が良い。文化的prestigeが高い。東京では、水害対策のため、「山の手」、高いところに皇族や元大名・華族が住みました。乃木坂、神楽坂など上質なイメージがあります。また、京都には、二寧坂・産寧坂があり、その次は「桂坂」という思いもあったとのこと。当時は、大阪の千里、京都の洛西、東京の多摩、横浜に港北など、ニュータウンと名付けるのが当たり前でしたが、いつかはオールドタウンになるのだからと考え、ニュータウンという名にはしなかったそうです。

「桂坂」「山の手」倶楽部。「坂」と「山の手」、質の高いイメージ 2 つが、響き合った素晴らしい名前です。

桂坂山の手倶楽部の益々のご発展と会員の皆様の健康長寿を祈念いたします。

## 桂坂のエピソードを紹介します

\* 以下は、山の手倶楽部初代相談役の松尾隆夫さんの記録より抜粋  
(桂坂山の手倶楽部だより第1号(平成17年8月発行)に記載された記事より)

◆**桂坂の位置**は、1582年明智光秀が本能寺に奇襲をかけた時に通った唐櫃越を北限に、日本最古の街道と言われる山陰街道の、中山、塚原、沓掛、大枝と連なる街々を南限にして1984年(昭和59年)から開発されたのが桂坂です。

◆**自治会の名前**は、最初の「かえで自治会」の名前を決めるとき、鳥、木、花の多い桂坂、樹木の名前を付けようと「かえで」に、更に子供たちも親しめるようにと「ひらがな」にすることに決め、その後の自治会もこれに賛同して頂き「しらかば」「さつき」と順次決まり、その後も「あかしあ」「ひいらぎ」「つばき」「はなみずき」「けやき」「にれのき」「さくら」と11自治会となり、樹木名が定着しました。

### ◆桂坂の良さ

★**道路**…桂坂への出入りの道路は3本あり、中央には日本では珍しいロータリーを作り、また人と車の共生をめざし生活道路は出来るだけT字路としフォルト(樹木の植わった出っ張り)やハンプ(道路端の凸部)等のボンフネル道路で車のスピードが出ないように設計されている。

★**水槽**…約50カ所に防火水槽がある。赤い看板に白で「防火水槽」と書いてあり道路には「京都消防・防火水槽」と書いたマンホールの蓋が見られる。この中には雨水が常に貯えられ断水の時の火事には効果を発揮できるようになっている。

★**土壌**…造成した当初はかなり地盤沈下があったようであるが徐々におさまり現在は問題ない。また、緑の多い街、樹木が枯れにくいように乾燥しにくい土が使われているらしい。

★**石畳**…西地域の石畳道路の「香りの花公園」前の石はフランス革命時にルーブル美術館前に敷かれていたものを輸入して使っている。輸入当時は馬糞の匂いがきつく、匂い落としに苦労されたようである。その他の石は中国からの輸入である。

★**会館**…ほとんどの自治会ごとに公園があり、その横に自治会館が建設され子供の遊びや夏祭り等色々活動出来るようになっており、京都市では珍しい地域である。

◆**山の手倶楽部のネーミング**…「山の手倶楽部発足の覚え」によると当時さつき自治会長の南部喜八郎さんが命名されたと記憶する。

◆**山の手倶楽部のシンボルマーク**…平成17年に会員の応募作12点の中から決まりました。「かつら」の葉をイメージした「幸せを呼ぶ四つ葉のクローバ」に「桂坂」と「山の手」の字を入れたシンプルなデザインです。



# 地域と共に

## ～小学生・支援学校の行事に参加～



朝の声掛け活動～暑い日も雪の日も有志が参加しています～



P T A フェスティバルでグラウンドゴルフ・碁碁将棋

西総合支援学校「サマースクール」  
グラウンドゴルフ支援



桂坂緑水会は 2007 年に京都市街路樹里親制度導入に呼応して、山の手倶楽部ゴルフ仲間を主体に結成。落ち葉の清掃や除草のボランティア活動です。2016 年末に解散しました。



野鳥遊園の炭焼き釜設置を応援 2006 年

桂坂はっとラインは桂坂学区にお住まいのおおむね 70 歳以上の住民の方、高齢者世帯の方を主な対象として、お困りごとを解決するための活動を行っています。お気軽にご相談ください。

お問い合わせ先

山崎 正男 (つばき)	338-2051	田中 健一 (かえで)	332-1565
松井 政枝 (かえで)	331-8860	奥野 美代 (しらかば)	331-8732
岡村 重臣 (さくら)	394-9122	中西 カズ子 (さくら)	393-4622

桂坂はっとラインの発起人委員会 (組織団体)  
桂坂地区自治会連合会、桂坂地区公民館、桂坂地区社会福祉協議会、桂坂地区老人福祉会、桂坂地区女性会、桂坂地区子育て支援会

桂坂在住の高齢者の困りごとのお助け隊「桂坂はっとラインの会」(山の手倶楽部、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、老人福祉員、更生保護女性会、地域女性会の共同事業)は 2008 年にスタートしましたが 2020 年に活動を終了しました。当倶楽部からは延べ 159 名が活動されました。



ふれあいの里秋祭り  
バザー販売 2019 年

## 区老連との歴史（1）

### ～区労連主催の行事に参加した楽しい思い出～



\* 区労連（西京区老人連合会）に加入したのは、山の手倶楽部発足翌年平成5年（1993年）でした。それから令和元年（2019年）に脱会するまで、スポーツ関係の大会（Gゴルフ、ペタンク、ボウリング、囲碁将棋）や文化芸能祭に代表される催事（コーラス、カラオケ、軽音楽、書、絵画、写真）やハイキング、旅行など様々なイベントに当倶楽部も協力してきました。山の手倶楽部の役員の減少による協力業務の負担が重すぎることで脱会理由でした。

コーラス同好会は文化祭の最後に登場



津軽三味線、司会（川上英子さん）2019年



カラオケ同好会もセミプロ級が熱唱

軽音楽同好会も常連になりました



### 合同作品展

（地域女性会、社会福祉協議会、山の手倶楽部）  
平成20年11月開催



## 区老連との歴史（2）

～区労連主催の行事に参加した楽しい思い出～



2017年の大会では囲碁将棋同好会がA～Cすべてのクラスで優勝&準優勝と圧倒的な強さを発揮



ペタンク同好会も活躍しました



ボウリング同好会は区労連の大会で通算9回優勝



2007年区労連ウォーキング

### \* 区老連（西京区老人クラブ連合会）との関係

区老連の組織は各学区の老人クラブより選出された委員により構成されており、その運営は主に、理事等による理事会と研修、体育、福利厚生、奉仕、文化、広報、女性部、若手の8委員会により行われています。ちなみに当倶楽部からは役員10名がこの組織に加わりその運営に携わっています。つまり当倶楽部の役員の半数は、当倶楽部の事業と区老連の事業の両方を担っていることとなります。（2013年広報誌第32号より）



区老連女性委員主催のダンスパーティ 2012年



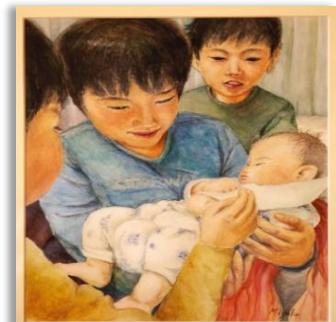
# “桂坂”山の手倶楽部ここにあり(1)

～山の手倶楽部は  
独自の道を歩み始めました～

## 桂坂学区自治連合会との連携を進めていきます

### 趣味の作品展

毎年 11 月に桂坂学区自治連合会主催の「桂坂オータムフェスタ」に共催で展開しています。書道・絵画・写真同好会会員の力作を中心に一般会員の作品も含めて約 120 点を展示発表しています。毎年作品の質が向上し高い評価を得ています。



## 会員同士の親睦を深めていきます

### ♪山の手芸能祭♪

コーラス・カラオケ・社交ダンス・軽音楽(クッキーズ)各同好会の合同発表会を開催しています。1年間の練習の成果をクッキーズとのコラボも加えて華やかに披露します。そして終了後、美味しいお弁当を食べながら和気あいあいに親睦を深めています。



**第2回 山の手芸能祭**

コーラス同好会 社交ダンス同好会 カラオケ同好会 軽音楽同好会  
合同発表会 プログラム

1. コーラス同好会 代領 別府孝子
  - 曲目 ① 秋の月 別府孝子 川上美子 藤原敏子 山本正典 渡辺あゆみ
  - ② 秋の月 山本正典 藤原敏子 山本正典 藤原敏子
  - ③ 秋の月 藤原敏子 山本正典 藤原敏子 山本正典
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
2. 社交ダンス同好会 代領 藤原敏子
  - ① 秋の月 藤原敏子 山本正典 藤原敏子 山本正典
  - ② 秋の月 山本正典 藤原敏子 山本正典 藤原敏子
  - ③ 秋の月 藤原敏子 山本正典 藤原敏子 山本正典
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
3. カラオケ同好会 代領 大塚孝一
  - ① 秋の月 大塚孝一 伊藤光博
  - ② 秋の月 伊藤光博 藤原敏子
  - ③ 秋の月 藤原敏子 大塚孝一
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
4. 軽音楽同好会(バンド、ギター) 代領/共催/CDマスター 藤原敏子
  - ① 秋の月 藤原敏子(バンド)
  - ② 秋の月 藤原敏子(バンド)
  - ③ 秋の月 藤原敏子(バンド)
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会
  - 協賛/共催 桂坂学区自治連合会

2019年11月2日(土) 9:50 開場/10:20 開演  
会場：桂坂小学校 クローバーホール



## “桂坂” 山の手倶楽部ここにあり (2)

### ♪うたごえキッサ♪

クッキーズの演奏で会員が良く知っている曲を皆で気持良く合唱します。ただ聞くだけでなく一緒に歌って楽しめます。



### 第1回うたごえキッサのご案内

このたびは会員皆様のご参加を願うと共に新しい方にも楽しんで頂くために、「うたごえキッサ」を創設しました。歌や音楽には年齢が関係ありません。今回はクッキーズの音楽会をきっかけに皆様と一緒にそれぞれの人生の思い出を歌いましょう。ご来場、お待ちしております。

### 歌おう100歳まで



### 地域の住民と共に歩みます



クッキーズ野外コンサート開催 (桂坂公園)



野鳥遊園での定期的な作品展示  
(書道、絵画、写真同好会)

### 樹木名札取り付け事業に取り組んでいます



創立30周年記念事業の一環として桂坂の8つの緑道と14の公園の樹木に名札を取り付けています



～二千年前から墨と筆で～

## 書道同好会



◆山の手倶楽部 書道同好会の発足経緯について振り返ってみます。

- ★1992年（平成4年）山の手倶楽部発足と同時に【写真】等の8つの「分科会」の1つとしてスタート。発足当初から喜多みどり先生の教えを受ける。
- ★1993年（平成5年）「趣味の作品展」がスタート（中信2階）、「市・区老連作品展」に出展開始（ウエスティ）
- ★2006年（平成18年）「分科会」から「同好会」に変更。この頃は会員数20～40名で活発に活動。
- ★2007年（平成19年）桂坂野鳥遊園での展示開始。
- ★2008年（平成20年）自治連20周年記念の一環として「合同作品展」を行う（ふれあい会館）。地域女性会、社会福祉協議会と共催。

楷書 行書 草書 隸書 篆書

毛筆の漢字には五つの書体があります



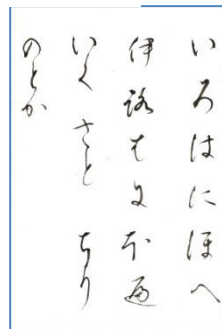
前講師

喜多みどり先生



現在の講師

小池晴美先生



小池先生のお手本

◆より高みをめざして努力していきます!!

発足当初からご指導して頂いた喜多みどり先生が体調不良により引退され一時会員も5名にまで減り存続していけるか不安な時期もありましたが、現講師の小池先生が指導を引き受けて下さり、また新たに2名入会し現在は7名までになりました。ご指導方法は喜多先生の場合は月刊誌の課題が設定されていましたが小池先生になってからは定期発表会以外でのノルマがないので各自が目標を定めて取り組まなければならないので、その分自学が必要です。目の前で朱を入れ添削していただくことがとても大事なことで、筆の持ち方や運び方など、学ぶことが沢山あります。以前より練習する時間も増えました。これからは会員を増やす知恵を皆で出し合って書道同好会が続いていくよう努力いたします。

（同好会責任者：大矢真弓：331-6862）

新しい会員を募集しています!!

【定例会】第1・第3木曜日。10時～12時。

自治会館。

【作品発表】年2回桂坂野鳥遊園と

年1回秋「趣味の作品展」

\*小池先生は会員が書いた作品に直接、朱を入れてご指導下さいます。

\*毛筆の漢字からひらがなまで勉強しましょう!!

# 絵画同好会

◆当会は発足当初から園先生に指導をお願いして17年が経過。コロナ禍中は活動が制限されたが、今は以前の毎月2回（第一、第二火曜）の「絵画教室」がベースに。

◆毎月のモチーフ（題材）は先生と世話人が相談しながら、季節の「花」、「野菜や果物」や、先生が用意する人形、食器などを。最近はマンネリ回避のため、テーマを決めて会員が持ち寄るケースも。

◆作品発表は年2回の「野鳥遊園」の展示と、秋の桂坂学区民文化祭（オータムフェスタ）併催の「趣味の作品展」です。現在の登録会員数は23名。

## 原点回帰 「デッサン力の確認と向上へ」

◆「『下手こそ』ものの上手なれ」が先生のモットー。「自惚れることなく、下手だと意識する限り向上心は続き、自ずと上達するはず」との思いです。上手く、正確に描こうとするより、モチーフの特性、質感、形状を素直に捉え、光と影（濃淡）が表現できれば、色の違いが多少あっても、美しく素敵な作品になります。

◆そして今年1月から「今一度、原点に戻ろう。デッサン力の確かさは、それが本画になればもう一つ魅力が増す」との先生の提案で、「ビーナスの石膏胸像」のデッサンを毎月4人単位で取り組み、全員が描き終わった時点で先生から各々作品の講（酷!）評を受ける予定です。



## AIの進化加速で価値観の激変期 だが 「創造的な表現は「人」が主体です」

◆最近、対話型の「チャット GTP」に代表される「生体 AI」が話題に。文章や画像、デザインなどが自動的に作成できることから、教育や行政、会社などの現場で使用の是非が議論されている。ただ、このイノベーションは課題を抱えつつさらに進化を加速し、表現の領域はさらに拡大へ…。私達は今まさに、価値観の激変期に生きていると実感する。

◆では「絵画」はどうか。絹谷幸二氏（注）の言葉に「一見動かない富士山も、日が当たって赤く染まったり、金に映えたりと、季節や時間、気象条件でめくるめく表情を変える。また、石灰岩の成分が雨と共に流れ、やがて魚の小骨などになって僕らの体内に入る…などと自然の循環や、信仰の対象として思いを巡らせたりする」と、あるように、人間の五感で感じ取るモチーフを想像力などで表現する「絵」の世界は、機械＝人工知能（AI）には無理であり、やはり、あらゆる分野の創造的な表現は「人」が主体です。

（注）きぬたに こうじ 洋画家 80歳 令和3年の文化勲章受章 奈良市出身

## 持続可能な会運営に… 「楽しい仲間と一緒に 描きませんか！」

◆教室では「絵画」の話題は当然ですが、相変わらず「どこの店が美味しい」「あそこの病院は良い、悪い」などの話で盛り上がること度々。晴れば外で風景の写生、雨の日は室内で静物を描くなど、何時でも、どこでも気軽に楽しめる趣味です。

◆少しでも関心のある方、愉快的な仲間と一緒に描いてみませんか。卒寿（90歳）を迎えられた園先生の長寿、持続可能な会運営、より豊かで充実した生活のためにも…。

（同好会責任者：石川勉：332-7087）

# 写真同好会



趣味としてカメラも多くの人たちに親しまれています。何気ない日常の風景でも「きれい！」と感動する一枚が撮れるといいですね。携帯でも簡単にきれいな写真が撮れる時代になり一段と関心が高まっています。写真をこよなく愛する仲間が作品を持ち寄り講評しあうのも楽しいものです。漸くコロナも収まった今、一緒にレンズを透して一瞬の巡り合いを探しに出かけましょう。四季の花々、鳥、山河、空、雲などを個性的な創造性、感性で捉えて、他にも感動を伝えるそんな作品を撮りたくて頑張っています。

17年前に当同好会は設立し、相互の親睦と技術向上を図ることを目出して定期的な撮影会、写真展示会、作品発表会、研修会等を行ってきました。現状はメンバー8名（女性3名、男子5名、2023年3月）と少ないですが個性を活かした作品で自己表現をしています。一緒に気軽にフォトライフを楽しみましょう。写真に関心をお持ちの方ご加入をお待ちしています。

2023年2-3月 野鳥遊園で展示した作品の一部です。



森園秀治 - おいしそう



橋本篤也 メジロ



山田佐栄子-  
うさぎうさぎ  
何見て跳ねる



尾崎賢太郎 - 春裳



勝山直枝 - 白銀の飛騨高山



上野嘉久 - ローマ（コロッセオ）



森雅子-吉野の桜



坂部行雄-水と光のシャワー



上野さん、懇親会で手品ご披露



同好会メンバー

(同好会責任者：坂部行雄：080-5323-9516)

# 囲碁・将棋同好会

## 同好会の歴史

### 創立～20年

当倶楽部創立と時を同じく分科会として、ひいらぎ自治会館で活動を始めました。その後、ふれあい会館に会場を移しましたが、阪神大震災でふれあい会館が被災者の受け入れから会場を追われ、一時、新林会館にお世話になりました。これがご縁で洛西の人達との交流が始まり、いつの間にか遠方から仲間を探してお越しになるようになりました。

私達も洛西の老人福祉センターの「洛朗会」に出向き桂坂の棋力を発揮しました。

(創立 20 周年記念誌より抜粋)

### 創立 20 年～30 年

平成 21 年 6 月

区老連主催の囲碁・将棋大会が、ふれあい会館で開催され 14 名が参加しました。熱戦の結果、囲碁 A クラスで九野嘉壽さんが優勝、準優勝伊藤文夫さん、B クラスで準優勝細居修三さん、C クラス優勝餐場重雄さん、3 位佐久間皓雄さんらが表彰を受けました。



平成 24 年 6 月

区老連主催の囲碁・将棋大会が、ふれあい会館で開催され当倶楽部より 16 名が参加しました。囲碁 C クラスで上門俊夫さん（もみのき）が見事に優勝され、8 月開催の市老連大会に、西京の代表として出場されました。

平成 29 年 6 月

区老連主催の囲碁・将棋大会が洛西境谷会館で開催され当倶楽部から 6 名が参加しました。囲碁の部で A クラス優勝西澤四郎さん、準優勝九野嘉壽さん、B クラス優勝矢部邦昭さん、C クラス優勝松本茂さんで、各クラス総ナメの成績でした



令和 2 年 2 月

### そして現在

輝かしいこの 10 年が過ぎ、地域交流スペースで細々と活動しています。残念ながら将棋を指す人はおられません。

囲碁は頭のスポーツだと云われていますが、一尺五寸の碁盤をはさんだ無言の会話なのです。ところが私達は、冗談を言ったり岡目八目の横やりが入ったり賑やかなことです。それでも中盤になると、真剣な眼差しで形勢判断をしますが、勝敗は二転三転します。メンバー 14 名が結構楽しくやっています。

残念ながらこの 5 年間、新規会員 1 名で、同好会の高齢化が進んでいます。囲碁は難しいとの先入観から敬遠されるのですが、1 年間いや半年通って下さい。楽しくなります。初心者歓迎。女性会員歓迎。囲碁教室は待っています。



令和 5 年 4 月

(同好会責任者：西澤四郎：333-1357)



# コーラス同好会

♪♪ 発足は平成4年4月26日です。その時より、毎月2回（第2、第4木曜日）10時～12時までで場所は、現在はサービスセンター桂坂の交流スペースで練習をしています。

♪♪ コーラス部の会員は今までで一番多い時は40名近くいましたがそれでも男女在籍で混成合唱を楽しむ事ができ、西京区労連加入時にはウエスティで開催された文化芸能祭に出演したり、カザラッカ演奏会で発表していました。

♪♪ 因みに、コンサート時に着用する女性用衣装は、とても上品で評判も良く歌に花を添えるようにした。



平成4年9月 西京区老連主催の文化祭にて



谷口先生と永野先生



カザラッカコンサート（桂坂小学校）

♪♪ この3年間のコロナ禍により活動が全面禁止という大きな壁にぶつかり同好会の存続の危機もありましたが、みんなで一緒に楽しく歌いたいという強い思いもあり、また諸先輩方が築いて来られた足跡を消すことなく大切につなげていけたらいいなという部員の総意に基づき、やっと令和5年4月13日から再開の運びになりました。

♪♪ また、永年ご指導を頂いている永野先生や谷口先生はもとより、新たに3名の会員をお迎え出来て、こんな嬉しい事はありません。総勢18名で、心と声をつにして素晴らしいハーモニーの輪をまた再びお届けできればと張り切っています。



現在のメンバー

♪♪ 男性が2名になりましたが、男女問わず、私達と楽しんで歌って頂けるお仲間を募集しています。どうぞ宜しくお願い致します。（同好会責任者：井崎恵子：090-5299-5418）



# 歩こう会 同好会



★歩こう会は平成5年（1993年）から発足しています。「囲碁将棋」「書道」「写真」とともに最も歴史のある同好会です。★いつもでしたら香りの花公園から毎日2Kmを30分で歩いています。★香りの花公園に会員が集い、「おはよう」の挨拶で電波時計に合わせて、定刻におもむろに歩き出します★恒例行事は、4月に花見会、12月には「赤おに」で忘年会です。★残念ながら、今は歩いていません。高齢化による会員数の減少などで思うように活動できません。

\*平成23年5月発行「桂坂山の手倶楽部創立20周年記念号に掲載した写真

## 同好会訪問

### ★歩こう会同好会 お花見

4月10日（火曜日）12時30分～ 於； 地域密着型交流センター桂坂  
 参加者14名（女性9名、男性5名）小松 伸さんの司会、斎藤 誠会長のご挨拶、岡 頼男さんの乾杯の音頭で食事会が始まり、みなさん、お綺麗にして来られて「ここは祇園？」との声も・・・  
 30分程でカラオケが始まると、もう止まりません、途切れることなく予約が入り、皆さん、お上手なこと！ ♪青い山脈 ♪おぼろ月夜も全員で合唱するなど3時間程歌い続け、楽しい時間を過ごしました。



歩いて、しゃべって、歌って～



見て、聞いて、食べて



健やかロングライフ！

\*平成30年5月発行広報誌第51号に掲載した記事を転用しました。

**新規会員募集中！！**

**同好会責任者も募集しています！！（同好会責任者：斎藤誠：333-6340）**



# ハイキング同好会



★ハイキング同好会は平成 21 年（2009 年）に発足しました。初代責任者は中口利秋さん、次に水谷恵一さん、今の坂井義男さんが 3 代目です。



平成 31 年 2 月発行第 54 号より抜粋



令和 2 年 2 月発行第 58 号より抜粋

★新型コロナウイルス感染の流行による自粛要請もとれ令和 5 年度からは例年通りのハイキングをして行きます。★昨年度はコロナの様子を見ながら何とか 5 回実施することが出来ました。★今年度は例年通り忘年会を含め 10 回実施する予定です。なんとかこのままコロナが収まることを祈っています。★ハイキングの効果は、① 生活習慣病の予防や血圧をコントロールする機能が良くなります。② 血液の循環が良くなり、肩こりや冷え性などの予防改善になり体力が付き疲れにくくなります。③ 筋力がつき階段の昇降など動くのが楽になり又、よく寝られて食事がおいしく、生活に張りが出てくる等の効果があると言われています。

★よかったら、是非ハイキング同好会に入って楽しく皆さんとコミュニケーションを取りながら歩きませんか！！

★現在の会員数は男性 12 名、女性 24 名の 36 名です。

★入会者をお待ちしています！！

（同好会責任者：坂井義男：333-5161）



2023/04/27



2022/11/15



# グラウンドゴルフ同好会



❖ 対外試合で活躍！！



令和4年度後期個人戦の写真です。22名の参加者で行い、長谷川さんが総合優勝されました。

◆グラウンドゴルフは、1982年（昭和57年）に鳥取県泊村（湯梨浜町）で始まりました。地域に密着して、グラウンド（広場）があれば出来るスポーツを目指して出来たのです。イメージとして、いつでも、だれでも、どこでも出来るという楽しいゲームです。◆山の手倶楽部でも平成7年より始めました。同好会の活動は当初は手探り状態で始めましたが、区老連に入会して大会に出るようになりました。他の対外試合は京都市労連・京都市民フェスティバル・都市間交流等に参加しています。成績も徐々に上位入賞するようになりました。

（同好会責任者：西井征一：333-7051）

❖ 地域での交流！！



←京都市西支援学校にて



桂坂小学校PTAフェスティバルは小学生に人気!!

❖ 親睦会もあります！！



令和2年新年会





# ペタンク同好会



## 歴史をたどれば



令和5年4月定例会参加メンバー

- ❖ 定例会は毎週火曜日ふれあい広場で8時30分～11時30分頃まで行っています。
- ❖ コンペや食事会等色々楽しいイベントを考え運営しています。
- ❖ 対外試合は体振のユニバーサルと交流会を年1回行っています。

□

(同好会責任者：西井征一：333-7051)

❖ ペタンクの発祥の地は南フランスで、1907年に発案され1910年から競技が始まり、それから100年後の平成22年(2010年)に山の手倶楽部の同好会が発足しました。当初は基本動作の(ルール)の習得を主眼に練習を重ね対外試合に参加できる実力を養いました。結果、平成23年より対外試合に参加するまでになりました。

❖ 競技はカーリングの陸上版とされています。用意する道具は600g～800gの鉄球(ボール)とビュット(木製か樹脂製)直径3cmを用意する。場所はグラウンドで幅4m、長さ16m。それにサークル(直径50cm)、スケール等です。

❖ ルールは簡単です。まず、チーム(2人・3人)を結成し交互に目標(ビュット)に向けてボールを投げていきます。目標に近い方が点数になり、11点又は13点先取したチームが勝利。ビュットの投げる距離は6m～10m以内となっています。

## 親睦会もあります



令和元年12月コンペと食事会を開催



# ボウリング同好会

## 発足経緯

2004 年頃からボウリングを愛する有志達により同好会立ち上げがスタートし、内藤邦昭さん（かえで）や岡村英明さん（つばき）等が中心になり正式に山の手倶楽部での承認は 2004 年 7 月 15 日でした。（右写真：2004 年 8 月）



## 当時の活動状況

20 名前後の会員が集まり月 2 回程度エミナースボウリング場を拠点に練習会を始めました。当初は初心者も多く、まずは投げ方の基本とマナーを覚えることからスタート。練習会を積み重ねるごとに段々と腕前も上がり、中には区労連主催・市労連主催の大会にも参加し好成績を納めるようになりました。（左写真：練習会）

## 区労連主催の大会で大活躍

2006 年 10 月からスタートした区労連主催の大会では第 1 回から 6 連覇し、その後も 2019 年の第 14 回大会までの間に優勝が計 9 回を数え西京区労連内で山の手倶楽部ボウリング同好会の存在を印象づけました。しかし、残念ながら山の手倶楽部が区労連から脱退したため第 14 回の大会を最後に区労連の大会への参加が出来なくなりました。

（右写真：2019 年 12 月区労連代表メンバー）



## 直近 10 年間の活動を振り返って

2020 年以降は新型コロナウイルス禍による活動の縮小や更に本拠地エミナースボウリング場の閉鎖、会員の高齢化もあり最盛期の半分以下に会員数が減少。それでも少人数ながら毎月の練習会をなんとか継続し同好会としての存続は維持しているが新規会員が見込めないと存続自体も危うくなっています。（左写真：コロナ禍での練習会）

## 会員募集のお知らせ 元気なボウリング愛好者を求めます！！

### 山の手倶楽部でボウリングを楽しみませんか？

現在、月 2 から 3 回木曜日 1 時から 3 ゲーム亀岡アルプラザボウルで練習会を開いています。詳細は下記までお問い合わせください。（同好会責任者：田窪浩治：391-4318）

# ゴルフ同好会



ゴルフ同好会は相互の親睦と健康の保持・増進を図ることを目的として1998年10月11日、第1回競技会が瑞穂GCで開催されました。当初年間2～4回の競技会開催でしたが2010年以降は年5回とし、2021年11月グランベール京都GCでめでたく100回目の競技会を迎えることができました。

(右写真)



競技会の参加者、全員のスコアー、入賞者、入退会、ハンデキャップHC等は創立以来すべて記録し、過去3年の成績を基に各自のHCを定め栄冠を競っています。記念すべき記録としては2013年瑞穂GCで林善司さんが、また2019年BG-CCで八田信男さんが目出度くホールインワンを達成されました。ベストグロスBGでは金井薫さんの77(2017年亀岡CC)、有田峻宏さんの78(2009年鳳鳴CC)、木田孝一さんの79(2014年瀬田GC)は素晴らしい成績でした。

2012年～14年頃は毎回40名以上の参加でしたが、近年高齢化、新規加入者減、コロナ禍等のため減少し、昨年末105回目の競技会では会員36名、競技会参加者は20名を切る状況です。(図1) ベストグロスの推移でも図2のように少し残念な傾向となっています。

さあコロナも収まりゴルフ仲間と素晴らしい時間を楽しみましょう。初心者の加入も大歓迎です。ゴルフを通してよき仲間を作りましょう。

世界ゴルフ殿堂入りしたボビー・ジョーンズは名言を残してくれました。

「人生の価値はどれだけの財産を得たかではなく、何人のゴルフ仲間を得たかである」

(同好会責任者：坂部行雄：080-5323-9516)

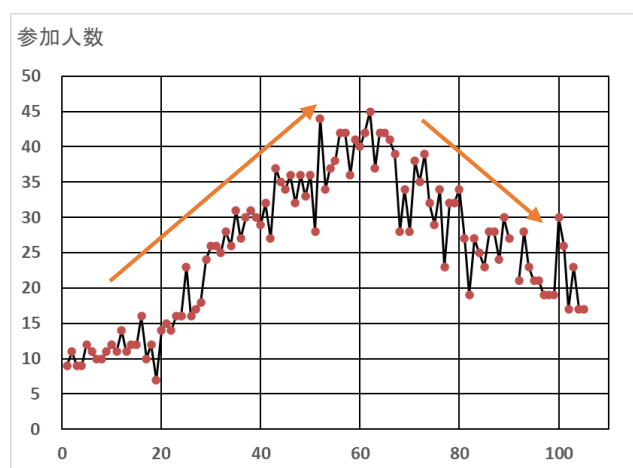


図1. 競技会参加人数の推移

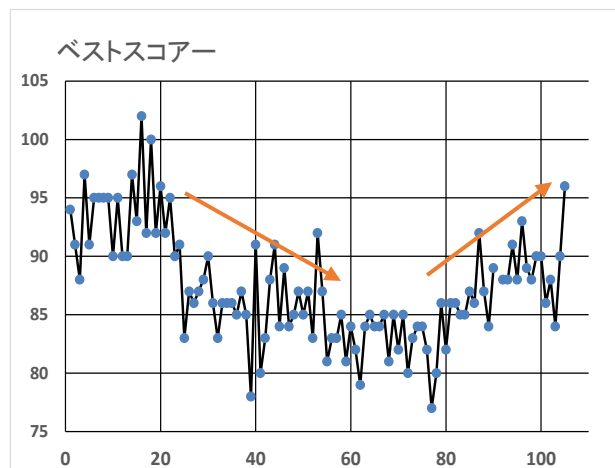


図2. ベストグロスの推移

# 社交ダンス同好会



◆ダンスを踊って一番の効果は何と言っても「ピンと伸びた背筋の立ち姿」ではないでしょうか。この立ち姿と幾つになっても軽やかな足取りで動ける体力づくりを目標にしてダンスレッスンに励んでいます。

◆ただ残念なことに社会の流れは社交ダンスには厳しくダンス人口は減少の一途です。当同好会でも会員の高齢化からの体力的問題等で直近では13名(応援会員含む)になり会員減少に歯止めが掛けられない状況です。社交ダンスの楽しさを何とか分かっていただきたいのですが今一つ伝えきれないのが悲しい現状です。



◆それでも第2・第3・第4水曜日の9時30分から新林会館の2階で精鋭会員は約2時間半のレッスンをしています。約3年前からは最新の流行を取り入れていただける若き熱血先生をお迎えし、そのご指導のもとで汗を流しています。

◆そして年間2回程、先生の主催等のダンスパーティーに参加して、他の同好会の方々との交遊をはかっています。このパーティーでは女性陣は綺麗なドレスに着飾り、いろんな方にお相手をいただいて練習成果を腕試しする楽しみがあります。

◆またメンバー全員で動きを揃えて踊る団体ダンス(フォーメーション)で日頃の成果を発表することもできます。思い通りに踊ることは難題ですが、難題克服にチャレンジする気持ちを忘れないように心掛けています。

◆ダンスには、華麗なワルツ(円舞曲)、情熱のタンゴ、艶めかしいルンバ、リズムカルなチャチャ、たくさん種類がありますがどれも健康に最適、頭の体操に最適、男女を問わずワイワイ楽しめるスポーツです。

☆お気軽に参加いただき、皆で軽やかなステップを踏んでみましょう☆

(同好会責任者：吉井満：090-7347-5661)

## ♪♪ クッキーズ(軽音楽同好会)



★同好会のリーダーはバンドのベース担当が務めバンドのバンマス（バンドマスター）でもあります。軽音楽同好会はつまりバンド活動なので、バンド名をどうするか悩みましたが当初のマネージャーとバンマスとで考えて、覚えやすく簡単な「クッキーズ」にしました。お菓子のクッキーは丸や四角、三角など色んな形や、ミルク味、チョコレート味など色んな味があり、誰にでも好かれているポピュラーなおやつのクッキーが、まるで私達バンドのメンバーのようだね…と言うのが命名の由来です。



★クッキーズが発足してすぐの2016年4月山の手倶楽部総会の親睦会で「ムーンリバー」他3曲を演奏したのがデビューです。レパートリーはラテン、映画音楽、ポップス、ジャズ、フォークソング等。特にカテゴリーにとらわれずに「楽しく奏（や）ろう♪」をモットーに月2回の練習を楽しんでいます。



★私達の演奏場所はリクエストがあれば基本的にお断りしません。介護施設への慰問演奏や山の手倶楽部主催の「うたごえキッサ」、洛西の桜祭り、桂坂公園での野外コンサート、下鴨神社での演奏など多岐にわたっています。



**是非!! クッキーズのライブにお越しください!!  
メンバー一同お待ちしております!!**

(同好会責任者：原田敬男：381-0889)



♪♪歌は世につれ世は歌につれ♪♪

# カラオケ同好会



## ♪♪カラオケ同好会の歴史

さつき自治会の長谷川文彦さんが平成19年（2007年）3月に17名の会員と共に立ち上げ毎月第2・第4火曜日（現在は水曜日）に“楽しく、愉快地、仲良く”をモットーに自分の好きな歌を熱唱する会としてスタートしました。

## ♪♪区労連の文化祭は晴れの舞台!!



## ♪♪山の手芸能祭でも歌いました!!



令和2年2月発行：山の手倶楽部だより掲載

◆コロナ禍のため活動を自粛していましたが歌を忘れたカナリアにならないためにもまもなく再開します。

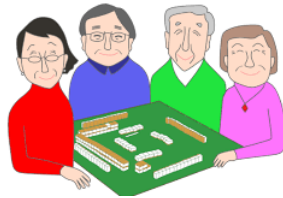
◆参加ご希望の方は是非ご連絡をください。  
(同好会責任者：大矢修一：331-6862)



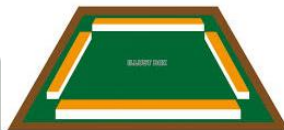
\*お断り：写真を優先しましたので、個々のお名前は省略致しました。マイクを持った表情だけをクローズアップしました。



# 麻雀同好会



◆マージャン同好会は平成19年（2007年）4月7日会員26名でスタートしました。この年は、他に「カラオケ」「絵画」同好会も同時に発足し山の手倶楽部全体の同好会活動の全容が揃った年でした。初代の責任者が乗本政三さんで、広報誌第8号に記載されている紹介文からの抜粋によると“賭けない、飲まない、吸わない”の3無健康マージャン同好会。全くマージャンを知らない会員もいたようで世話人のコーチが牌を積むことから教えたそうです。◆当初は、ふれあい会館が会場でしたが閉鎖により、ひいらぎ自治会館を借りて毎月第2・第4土曜日、12時半～5時まで参加費500円で活動していました。◆最近では、会場が自治会館になり駐車が出来なくなり、会員の高齢化、3年に及ぶコロナ禍により活動が停滞しており、新規会員の掘り起こしが喫緊の課題となっております。【文章は責任者の玄島さんの原案を元に事務局が編集しました】



**新規会員募集中！！**

**指の運動！！ 頭の体操！！ 親睦！！  
四角いテーブルを囲んで和気あいあい！！**

(同好会責任者：玄島康弘：333-1235)

# 映画鑑賞同好会

◆私達山の手倶楽部 17 番目の「映画鑑賞同好会」が生まれたのは 2012 年 4 月でした。山の手倶楽部 会員 260 名の平均年齢は 77 歳。殆んどの方が戦中・戦後を通じて「映画」を唯一の娯楽として育った年代でした。◆丁度この前年、区労連新任リーダー研修会で会員増強の成否は各学区単位クラブの同好会活動にかかっている旨の実例発表に触発され、山の手倶楽部はその時既に 16 の同好会が活動していることを承知の上で、宮川喬さん始め 10 人の同調者と共に「映画鑑賞同好会」の設立に動き出しました。◆このように大きな関心をもって船出した「映画鑑賞同好会」でしたが、その出足は決して順風満帆とはいきませんでした。◆映画上映会の会場に予定した「ふれあい会館」が京都市の赤字削減策により閉鎖される一方、区老連の体育委員長兼若手委員長を委嘱され両委員会の運営（特に事務局兼務）に忙殺されるあまり、同好会活動に齟齬を生じさせたことです。◆この駆け出しの 3 年間は市労連主催クールスポット上映会（ひと・まち会館～「カサブランカ」「地獄門」など上映）、行政主催憲法・人権上映会（西文化会館ウエスティ～「戦火の馬」「世界を動かす男」など上映）などに会員有志の参加を得て、辛うじて映画同好会としての対面を保つことが出来たと思っています。

## 映画鑑賞同好会

「気軽に映画鑑賞をしたい」との想いから、発足して 6 年、岡村代表他 3 5 名の会員が地域交流スペース等で鑑賞会や昼食会を楽しんでいます。

### 映画上映会&忘年会

12月13日(水) 10:00~2:00  
於: レストラン「赤おに」1F 別室



討ち入り前日とあって、  
タイムリーな映画 ^ー^

『忠臣蔵』～四十七人の刺客～  
市川崑監督、高倉健他、昭和の名優ぞらり～



本会を企画された委員の方々の  
心遣いが随所に感じられる、  
今年最後の映画鑑賞会でした。



原作: 池宮彰一郎の時代小説  
内蔵助の人間像を追いつつ、  
主君への忠義、仇討ちよりも  
お家間の謀略戦が描かれて…

「忘年会」とあって、映画の  
感想・批評より、一年のあれこれ  
……



松花堂弁当を食べながら…

\* 平成 30 年 2 月 1 日発行。「山の手倶楽部だより第 50 号」より抜粋

◆このような窮状を救ってくれたのは日文研内レストラン「赤おに」支配人北田克治さんでした。2015 年 2 月初総会終了時、別室に上映設備設置を提案。同 6 月 16 日待望の桂坂山の手倶楽部映画鑑賞同好会第 1 回上映会「誰が為に鐘は鳴る」を実施することが出来ました。以降「武士の一分」「東京物語」「赤穂浪士」「四十七人の刺客」など古今の名画が自慢の松花堂弁当と共に鑑賞、賞味出来たことは会員の私達にとって無上の幸せでした。◆更に 2016 年年 3 月に地域密着型サービスセンター桂坂がオープン。1 階ホールの大きなスクリーンに会員の満足度も高かったようです。◆この 2 会場で恵まれた時間を過ごせたのも 5 年止まり。2019 年暮れの新型コロナウイルスの蔓延によって活動を中止せざるを得ない状況に追い込まれ、現在もなお再開出来ずにおります。◆今後の方向性としては一つの考え方として山の手倶楽部の事業計画にある「古の映画祭」に吸収・活動することも考えてはどうかと思う今日この頃です。（同好会責任者：岡村英明：332-1400）

## 桂坂山の手倶楽部の変遷概要

年度	特 記 事 項
平成 4	○4/26 桂坂山の手倶楽部設立式開催（於桂坂小学校）○会長1名、副会長2名を含め11名の役員を選出○3単位倶楽部でスタート○自治連より祝い金7万円受領○年会費3,000円でスタート
5	○自治連助成金3万円○特別会計制導入○西京区老連に加入
6	○第1回「趣味の作品展」開催
7	○総会会場を「ふれあい会館の大枝の間」に移動
8	○自治連助成金5万円に増額
9	○自治連助成金7万円に増額 副会長若干名に増員
10	○全会員有志による「新年互礼会」開始
11	○自治連10周年行事に協賛して女性会等と共に「記念作品展」開催○事務局担当制導入
12	○事業担当委員制導入○役員会覚書（役員等選出・分科等設立）制定
13	○10周年記念祝賀会開催○自治連助成金10万円に増額○単位倶楽部3→4
14	○総会会場を「ふれあい第1研修室」に移動○単位倶楽部へ2.5万円助成開始
15	○役員任期を1年から2年に変更
16	○名誉会員制を導入（会費免除）
17	○広報誌「山の手倶楽部だより」スタート○単位倶楽部助成金12,500円に減額
18	○会則を全面的に改訂（分科会を同好会に変え、助成金を廃止、会費を3,000円から1,800円に減額、事務局長制を導入他）○小学校見守り隊活動開始
19	○野鳥遊園に同好会員の作品展示開始
20	○ほっとラインの会発足
21	○自治連20周年事業の一環として女性会等と共催で「合同作品展」開催
22	○単位倶楽部4→5○助成金を1万円に減額○自治連助成金16万円に増額
23	○20周年記念式典・祝賀会開催
24	○新年互例会に106名出席
25	○ふれあい会館の閉鎖、ふれあい公園愛護協力会の設立
26	○ふれあい会館閉鎖に伴い総会後の親睦会と新年互例会を別会場で開催
27	○軽音楽同好会が発足し18同好会になる。
28	特になし
29	○新年互例会（会場エミナース）の出席者62名に減少
30	○新年互例会を廃止し代わりに山の手芸能祭を初開催 会員の減少に伴い単位倶楽部の再編成（5→3に再編）
令和 1	○親睦融和強化の一環として「うたごえキッサ」初開催 ○協力業務の負担回避のため区老連から脱会。補助金もなし。
2	○新型コロナウイルス感染のため各種行事が開催出来ず。地域交流スペースも1年間使用出来ず（5つの同好会活動出来ず）
3	○3単位倶楽部を廃止し、5つの地域からなる連絡体制に移行
4	○新型コロナウイルス感染拡大。
5	○創立30周年記念事業開催（記念式典のみ祝賀会なし。記念誌、樹木名札事業）

歴代役員一覧表 (1)

枠内は事務局担当

役 職	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
会 長	立野 和之	立野 和之	立野 和之	立野 和之	立野 和之	立野 和之
副 会 長	酒井 厚 中西 潔	酒井 厚 中西 潔	酒井 厚 中西 潔	酒井 厚 中西 潔	細居 修三 中西 潔 山本 昭	細居 修三 中西 潔 山本 昭
会 計	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一
事務局長	-	-	-	-	-	-
庶 務	松本 昭子 木村 義成 細谷ハツエ 喜多みどり 日比野美代子 藤井 京一	松本 昭子 木村 義成 金澤マサ子 宮崎れい子 藤井 京一 金子侑久子	松本 正二 木村 義成 青井トラエ 尾上 幸子 藤井 京一 金子侑久子	木村 義成 青井トラエ 尾上 幸子 藤井 京一 松本 正二 金子侑久子 山本 昭	湯浅ミシマ 細谷 修三 大路 繁男 尾上 幸子 松本 正二 松本 昭子 橋本 広子	湯浅ミシマ 細谷 修三 山下 一郎 大路 繁男 尾上 幸子 松本 昭子 橋本 広子
監 査	田畑 昭三	田畑 昭三	田畑 昭三	細居 修三	山下 一郎	松本 正二
相 談 役	松尾 隆夫				酒井 厚	酒井 厚

(注) 1. 平成4年度の記録はありません。 2. 平成4年度は3単位倶楽部でスタート

役 職	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
会 長	上久保潤次郎	上久保潤次郎	野口 修	山本 昭	山本 昭	山本 昭
副 会 長	細居 修三 中西 潔 松本 正二	細居 修三 中西 潔 松本 正二	阪本 健 世木 俊一 山本 昭	阪本 健 世木 俊一 八木 兵司	阪本 健 永富 進 八木 兵司	阪本 健 永富 進 八木 兵司
会 計	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	世木 俊一	永富 進	永富 進
事務局長	-	-	-	-	-	-
庶 務	山本 昭 細谷 修三 酒井 厚 塩見 睦子 松本 初次 木村喜代子 西本 博 尾上 幸子 辻 タカ枝	山本 昭 細谷 修三 酒井 厚 塩見 睦子 松本 初次 木村喜代子 西本 博 山岡佐知子 辻 タカ枝	米倉 英彦 田畑 佳子 喜多みどり 吉田 光子 川口チエ子 八木 兵司 大森 一枝 細谷ハツエ 松本 初次 早川 芳孝 辻 タカ枝	米倉 英彦 田畑 佳子 喜多みどり 吉田 光子 加藤喜代子 松本 昭子 大森 一枝 細谷ハツエ 松本 初次 早川 芳孝 辻 タカ枝	米倉 英彦 橋本 浩季 塩見 睦子 谷 龍彦 木村 義成 佐久間佳寿子 松本 昭子 大森 一枝 細谷ハツエ 松本 初次 岡 頼男	米倉 英彦 橋本 浩季 塩見 睦子 谷 龍彦 木村 義成 佐久間佳寿子 松本 昭子 大森 一枝 細谷ハツエ 松本 初次 岡 頼男
監 査	糀田 博	糀田 博	橋本 浩季	橋本 浩季	糀田 博	糀田 博

(注) 1. 平成13年度に第4倶楽部発足 2. 平成15年度より役員任期が2年となる

役 職	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
会 長	山本 昭	岡 頼男	岡 頼男	岡 頼男	乗本 政三	乗本 政三
副 会 長	細谷 修三 永富 進 八木 兵司	細谷 修三 乗本 政三 八木 兵司	田中 健一 乗本 政三 八木 兵司	田中 健一 乗本 政三 八木 兵司	田中 健一 松本 初次 八木 兵司	田中 健一 松本 初次 八木 兵司
会 計	永富 進	乗本 政三	乗本 政三	乗本 政三	西澤 四郎	西澤 四郎
事務局長	-	-	八木 兵司	八木 兵司	八木 兵司	八木 兵司
庶 務	米倉 英彦 橋本 浩季 塩見 睦子 乗本 政三 川上 英子 佐久間佳寿子 松本 昭子 内田 圭子 高橋 俊樹 山下カツ子 辻 夕力枝	米倉 英彦 橋本 浩季 塩見 睦子 西澤 四郎 川上 英子 佐久間佳寿子 松本 昭子 内田 圭子 高橋 俊樹 松本 初次 辻 夕力枝	中口 利秋 高木 紀子 加藤 元子 西澤 四郎 喜多みどり 安楽つねみ 松本 正二 内田 圭子 松本 初次 岡村 英明 辻 夕力枝	中口 利秋 高木 紀子 加藤 元子 西澤 四郎 喜多みどり 安楽つねみ 松本 正二 内田 圭子 松本 初次 岡村 英明 辻 夕力枝	中口 利秋 高木 紀子 加藤 元子 長谷川文彦 安楽つねみ 足立 郁男 内田 圭子 岡村 英明 辻 夕力枝 伊藤 光男	中口 利秋 高木 紀子 加藤 元子 長谷川文彦 安楽つねみ 足立 郁男 内田 圭子 岡村 英明 辻 夕力枝 伊藤 光男
監 査	岡 頼男	岡村 英明	青木 和之	青木 和之	園 章	園 章

役 職	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
会 長	八木 兵司	八木 兵司	長谷川文彦	長谷川文彦	西井 征一	西井 征一
副 会 長	松本 初次 岡村 英明 中口 利秋 西澤 四郎	松本 初次 岡村 英明 中口 利秋 西澤 四郎	中口 利秋 足立 郁男 青山 正男 岡村 重臣	中口 利秋 足立 郁男 青山 正男 岡村 重臣	中口 利秋 西澤 四郎 青山 正男 岡村 重臣	中口 利秋 西澤 四郎 青山 正男 岡村 重臣
会 計	足立 郁男	足立 郁男	足立 郁男	足立 郁男	西澤 四郎	西澤 四郎
事務局長	西澤 四郎	西澤 四郎	岡村 重臣	岡村 重臣	岡村 重臣	岡村 重臣
庶 務	田中 健一 高木 紀子 加藤 元子 長谷川文彦 野田 照代 丹治 洋子 内田 圭子 田尻登美子 青山 正男 辻 夕力枝 伊藤 光男 佐藤 清規 岡村 重臣	田中 健一 高木 紀子 加藤 元子 長谷川文彦 森位 洋平 内田 圭子 田尻登美子 青山 正男 下江えい子 伊藤 光男 岡村 重臣	田中 健一 高木 紀子 松井 捨和 鶴蒔 静男 星野 法子 市原 和敏 西井 征一 景山 武信 田畑 恵子 岡村 英明 小松 久夫 下江えい子 水谷 恵一 松本 至子	田中 健一 高木 紀子 松井 捨和 鶴蒔 静男 星野 法子 市原 和敏 西井 征一 景山 武信 田畑 恵子 岡村 英明 小松 久夫 下江えい子 水谷 恵一 松本 至子	内田 克己 湯浅 雅子 鶴蒔 静男 星野 法子 坂井 義男 景山 武信 玄島 康弘 田畑 恵子 清水 健男 下江 安成 下江えい子 水谷 恵一 松本 至子 林 正信	内藤 邦昭 鶴蒔 静男 星野 法子 坂井 義男 景山 武信 玄島 康弘 田畑 恵子 清水 健男 下江 安成 下江えい子 水谷 恵一 松本 至子 林 正信
監 査	小松 久夫	小松 久夫	伊藤 光男	伊藤 光男	田中 健一	田中 健一

(注) 1. 平成 23 年度に第 5 倶楽部発足

役 職	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
会 長	西井 征一	西井 征一	清水 健男	清水 健男	清水 健男	清水 健男
副会長	内田 克己 西澤 四郎 清水 健男 林 正信	内田 克己 西澤 四郎 清水 健男 林 正信	内田 克己 西澤 四郎 林 正信	内田 克己 西澤 四郎 林 正信	林 正信 坂部 行雄	林 正信 坂部 行雄
会 計	西澤 四郎	西澤 四郎	西澤 四郎	西澤 四郎	大川 義弘	大川 義弘
事務局長	岡村 重臣	岡村 重臣	大矢 修一	大矢 修一	大矢 修一	大矢 修一
庶 務	内藤 邦昭 涌田早夜子 横田 清豪 星野 法子 坂井 義男 景山 武信 玄島 康弘 下川喜久雄 井上 勝啓 磯野恵美子 小松 久夫 水谷 恵一 岡村 重臣 丸山 洋子	内藤 邦昭 涌田早夜子 横田 清豪 星野 法子 坂井 義男 景山 武信 玄島 康弘 下川喜久雄 井上 勝啓 磯野恵美子 水谷 恵一 岡村 重臣 丸山 洋子	内藤 邦昭 小阪美智子 景山 武信 星野 法子 坂井 義男 磯野恵美子 井上 勝啓 水谷 恵一	内藤 邦昭 小阪美智子 景山 武信 星野 法子 坂井 義男 磯野恵美子 井上 勝啓 水谷 恵一	内田 克己 西井 征一 星野 法子 磯野恵美子 小阪美智子 坂井 義男 井上 勝啓	内田 克己 西井 征一 星野 法子 磯野恵美子 小阪美智子 坂井 義男 井上 勝啓
監 査	田中 健一	田中 健一	玄島 康弘	玄島 康弘	西澤 四郎	西澤 四郎

(注) 1. 平成 31 年度 (令和元年) に区労連脱会に伴い単位倶楽部を解散

役 職	令和 5 年度
会 長	清水 健男
副会長	林 正信 中田 清治
会 計	大川 義弘
事務局長	大矢 修一
庶 務	内田 克己 西井 征一 喜多 敏 星野 法子 小阪美智子 坂井 義男 井上 勝啓
監 査	西澤 四郎

桂坂山の手倶楽部

歴代同好会責任者一覧表 (1)

	H 5 年度	H 6 年度	H 7 年度	H 8 年度	H 9 年度	H10 年度	H11 年度	H12 年度	H13 年度
史跡巡り	荒牧 隆	藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次
園 芸	松本正二	松本正二	松本正二	藤井京一	細谷修三	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次
歩こう会	喜多康雄	喜多康雄	大路繁男	大路繁男	大路繁男	大路繁男	喜多康雄	喜多康雄	喜多康雄
健康教室	細居修三	細居修三							
ゲートボール	平本清市	平本清市	平本清市	平本清市	平本清市	平本清市	小林隆祐	小林隆祐	小林隆祐
囲碁将棋	西本 博	西本 博	西本 博	西本 博	上久保	上久保	上久保	上久保	上久保
書 道	森 富子	森 富子	森 富子	森 富子	森 富子	森 富子	橋本廣子	橋本廣子	橋本廣子
一 筆 画		佐野孝子	栗山昌子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子
写 真	松尾隆夫	松尾隆夫	青井 勇	青井 勇	永富 進	永富 進	永富 進	越當秀雄	畑 久栄
コーラス		加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	加藤喜代子	川上英子
G・ゴルフ			山本 昭	山本 昭	山本 昭	木下一郎	国島久夫	岡 頼男	岡 頼男
女 性 部	西村つや子	西村つや子	青井トラエ	松本昭子	大路たき	大路たき	松本昭子		
謡 曲				藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	細居修三
手編教室				山本さと子	山本さと子	山本さと子			
旅 行						藤田弘一	藤田弘一	藤田弘一	中西 潔
ゴ ル フ							永富 進	永富 進	永富 進

※平成4年度の記録はありません。

	H14 年度	H15 年度	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
史跡巡り	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次					
園 芸	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次			
歩こう会	喜多康雄	喜多みどり	喜多みどり	喜多みどり	喜多みどり	中口利秋	中口利秋	中口利秋	中口利秋
ゲートボール	小林隆祐	木村清子	木村清子						
囲碁将棋	上久保潤次郎	矢部邦昭	矢部邦昭	上久保潤次郎	上久保潤次郎	上久保潤次郎	上久保潤次郎	上久保潤次郎	上久保潤次郎
書 道	橋本廣子	橋本廣子	橋本廣子	橋本廣子	橋本廣子	阪本 健	阪本 健	阪本 健	阪本 健
一 筆 画	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子	立野美佐子					
写 真	畑 久栄	岡 頼男	岡 頼男	岡 頼男	阪本 健	越當秀雄	阪本 健	阪本 健	阪本 健
コーラス	川上英子	川上英子	川上英子	岩川 弘	川上英子	川上英子	川上英子	谷 龍彦	谷 龍彦
G・ゴルフ	松本正二	松本正二	田中健一	田中健一	伊藤光男	伊藤光男	青山正男	青山正男	西井征一
謡 曲	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三	細居修三
旅 行	中西 潔	中西 潔	木村喜代子	木村喜代子	木村喜代子				
ゴ ル フ	永富 進	永富 進	永富 進	永富 進	橋本浩季	橋本浩季	橋本浩季	橋本浩季	橋本浩季
俳 句			吉田光子	青井トラエ	田畑圭子	田畑圭子	丹羽節子	丹羽節子	木村律子
ボウリング				内藤邦昭	内藤邦昭	岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明
社交ダンス				藤井 勇	岡 頼男	岡 頼男	岡 頼男	岡 頼男	青山正男
日帰り探					松本初次	松本初次	木村喜代子	木村喜代子	木村喜代子
カラオケ						長谷川文彦	長谷川文彦	長谷川文彦	長谷川文彦
麻 雀						乗本政三	乗本政三	松本初次	松本初次
絵 画						佐久間佳寿子	佐久間佳寿子	佐久間佳寿子	佐久間佳寿子
ハイキング								中口利秋	中口利秋

## 桂坂山の手倶楽部

## 歴代同好会責任者一覧表 (2)

同好会名	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
歩こう会	中口利秋	中口利秋	斎藤 誠	斎藤 誠	斎藤 誠	斎藤 誠	斎藤 誠	斎藤 誠	斎藤 誠
書 道	阪本健	阪本健	増田靖子	増田靖子	増田靖子	増田靖子	増田靖子	増田靖子	加藤元子
コーラス	谷龍彦	辻村依子	木村喜代子	喜多みどり	佐久間佳寿子	佐久間佳寿子	川上英子	川上英子	別役恭子
謡 曲	細居修三	臼井芳雄	臼井芳雄	臼井芳雄	臼井芳雄	臼井芳雄	臼井芳雄	臼井芳雄	—
俳 句	斎藤・木村	木村律子	岡頼男	岡頼男	竹原善一郎	竹原善一郎	竹原善一郎	竹原善一郎	休 会
囲碁・将棋	上久保潤次郎	上久保潤次郎	伊藤文夫	伊藤文夫	伊藤文夫	九野嘉寿	九野嘉寿	九野嘉寿	九野嘉寿
写 真	増田節夫	阪本健	水谷恵一	水谷恵一	水谷恵一	水谷恵一	水谷恵一	橋本篤也	橋本篤也
G・ゴルフ	西井征一	西井征一	西井征一	岡村重臣	岡村重臣	岡村重臣	岡村重臣	西井征一	西井征一
ゴ ル フ	橋本浩季	橋本浩季	小松久夫	小松久夫	下江安成	下江安成	横山光廣	横山光廣	横山光廣
ボウリング	岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明	内藤邦昭	内藤邦昭	田窪浩治	田窪浩治	田窪浩治
社交ダンス	青山正男	青山正男	青山正男	青山正男	青山正男	青山正男	飯田 章	飯田 章	長澤孝好
カラオケ	長谷川文彦	長谷川文彦	長谷川文彦	伊藤光男	長谷川文彦	西村明	大矢修一	大矢修一	大矢修一
麻 雀	松本初次	松本初次	松本初次	松本初次	乗本政三	乗本政三	飯田義規	飯田義規	飯田義規
絵 画	佐久間佳寿子	佐久間佳寿子	田中紀久子	田中紀久子	田中紀久子	田中紀久子	田中紀久子	田中紀久子	田中紀久子
ハイキング	中口利秋	中口利秋	水谷恵一	水谷恵一	水谷恵一	水谷恵一	水谷恵一	坂井義男	坂井義男
ペタンク	岡村英明	長谷川文彦	長谷川文彦	長谷川文彦	西井征一	西井征一	西井征一	西井征一	西井征一
映画鑑賞		岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明
軽音楽						原田敬男	原田敬男	原田敬男	原田敬男

同好会名	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
歩こう会	斎藤 誠	斎藤 誠	斎藤 誠	斎藤 誠
書 道	増田靖子	増田靖子	増田靖子	大矢真弓
コーラス	別役恭子	別役恭子	別役恭子	井崎恵子
謡 曲	—	—	—	—
俳 句	休 会	休 会	休 会	休 会
囲碁・将棋	西澤 四郎	西澤 四郎	西澤 四郎	西澤 四郎
写 真	橋本篤也	橋本篤也	橋本篤也	坂部行雄
G・ゴルフ	西井征一	西井征一	西井征一	西井征一
ゴ ル フ	横山光廣	横山光廣	横山光廣	坂部行雄
ボウリング	田窪浩治	田窪浩治	田窪浩治	田窪浩治
社交ダンス	長澤孝好	長澤孝好	長澤孝好	吉井 満
カラオケ	大矢修一	大矢修一	大矢修一	大矢修一
麻 雀	飯田義規	玄島康弘	玄島康弘	玄島康弘
絵 画	小林 雪生	小林 雪生	小林 雪生	石川 勉
ハイキング	坂井義男	坂井義男	坂井義男	坂井義男
ペタンク	西井征一	西井征一	西井征一	西井征一
映画鑑賞	岡村英明	岡村英明	岡村英明	岡村英明
軽音楽	原田敬男	原田敬男	原田敬男	原田敬男



## 編集後記

---

この度、桂坂山の手倶楽部が創立 30 周年を迎え、記念式典、名札取り付け事業、そして記念誌の発行と 3 つの事業を実施できたのは会員・役員を始め多くの関係者の皆様のご協力・ご支援のお陰であります。

記念誌発行に際し、メインはあくまで 16 の同好会活動の紹介といたしました。特に、永年参加しておりました区労連での活躍の振り返りとその後の山の手倶楽部独自の活動に分けて編集いたしました。また、“桂坂”にも焦点を当てながら、当倶楽部の存在を改めて意識する内容も織り込みました。さらに、永年いかに多くの会員が役員や同好会責任者として関わってきたかを記録として残すために資料編を加えました。以上の編集意図を紙面から読み取って頂ければ幸いです。

最後に、記念誌発行に際し、寄稿、写真の撮影、取材、校正等にご協力いただきました皆様方に、紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

桂坂山の手倶楽部創立 30 周年記念誌発行委員会  
編集責任者 大矢 修一

---

発行日 2023 年（令和 5 年）9 月

発行者 桂坂山の手倶楽部創立 30 周年記念事業実行委員会  
委員長 清水 健男